

新高1生親子セミナー

(2023年2月19日)

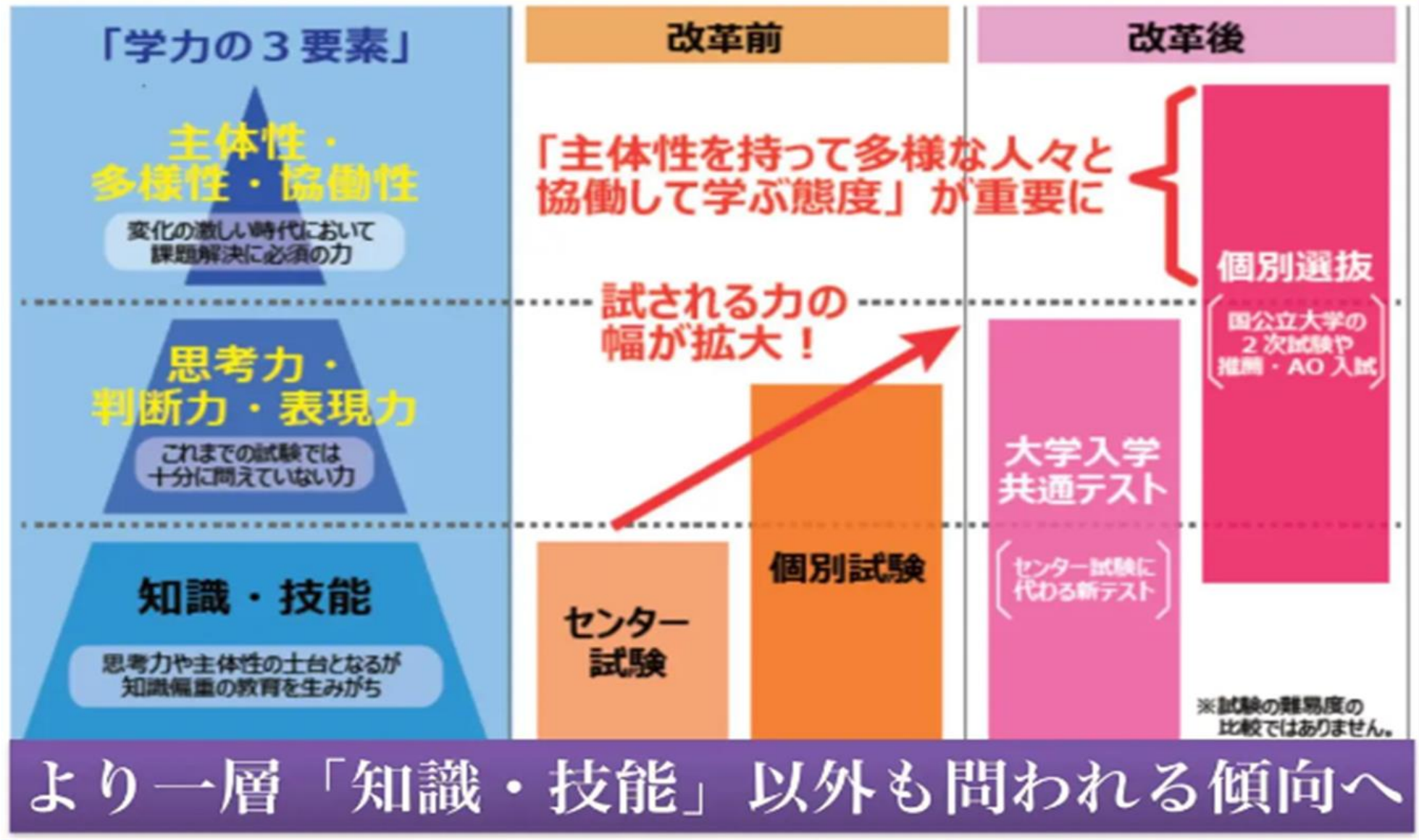
- 大学入試制度改革
- 大学受験の仕組み
- 高校生の学習内容の変化に対応する

年度		2019	2020	2021	2022	2023	2024
入試	大学入試		大学入学共通テスト先行実施 ①英語の試験でL&Rの比率が50:50になる。 ②数学と国語で記述式問題が導入される。				本格実施 地理歴史、公民、理科で、記述式を検討中
	英語について	特例措置 対応期間 (英検など)	移行期間 ①大学入学共通テスト ②4技能テスト ③各大学独自の試験		これら3つの試験の対策が求められる世代。		①4技能テスト(必須) ②各大学独自の試験の2種類になる(予定)
授業	学習指導要領	小学校	新指導要領全面実施 ①英語の教科化(5・6年) ②英語の必修化(3・4年) ③単語数600-700語				
		中学校	新指導要領全面実施 ①英語は英語で教える ②単語数1200⇒1800語				
		高等学校	新指導要領年次進行で実施 ①単語数1800⇒2500語				

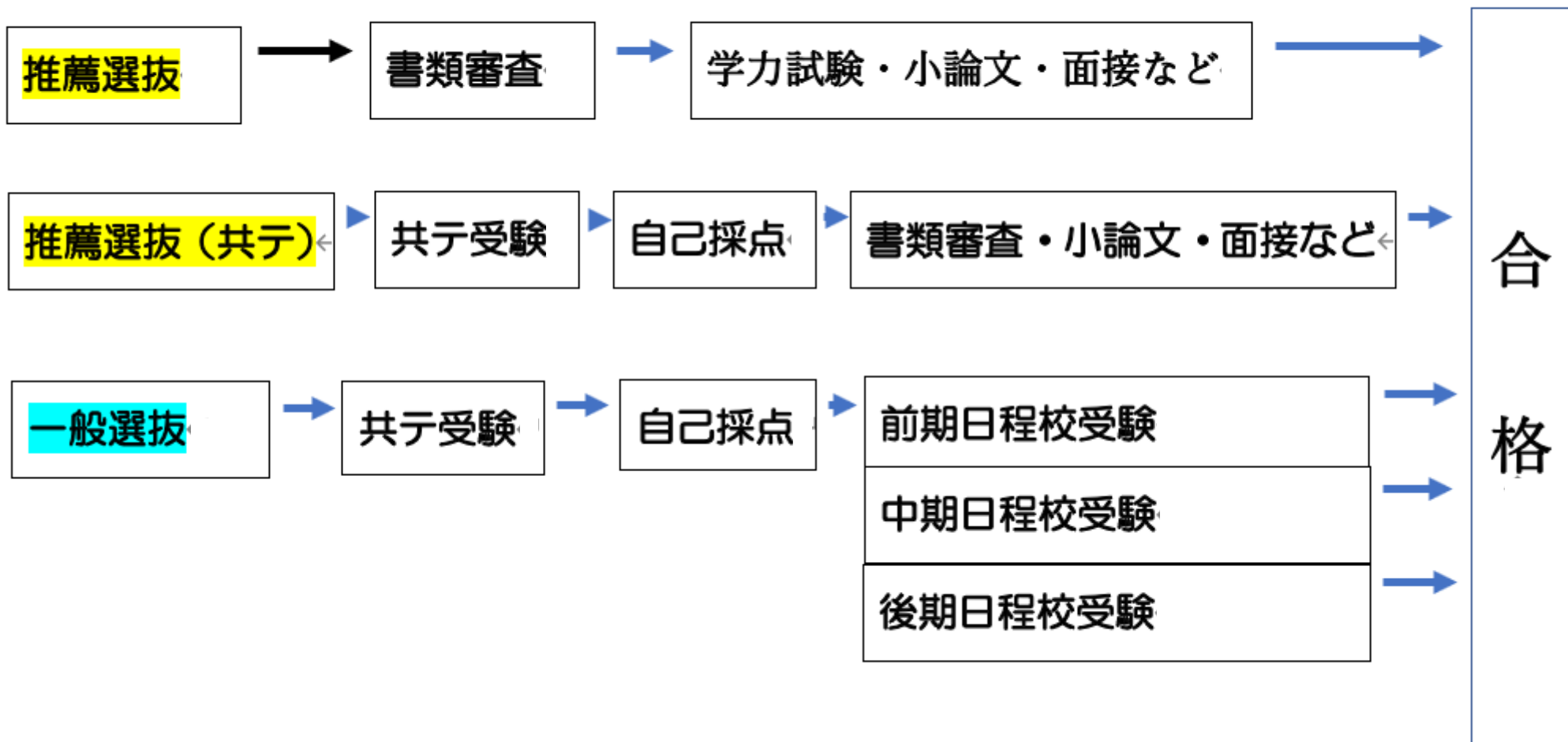
大学入試と授業が変わる！

大学入試改革本格実施！

「学力の3要素」はこうなっている



国公立大学の種類



国公立大学入試（一般選抜）

○共通テストでは5教科7科目以上を課す国公立大が多い

○2次試験では2～3科目が一般的

・例) 千葉大学 国際教養学部

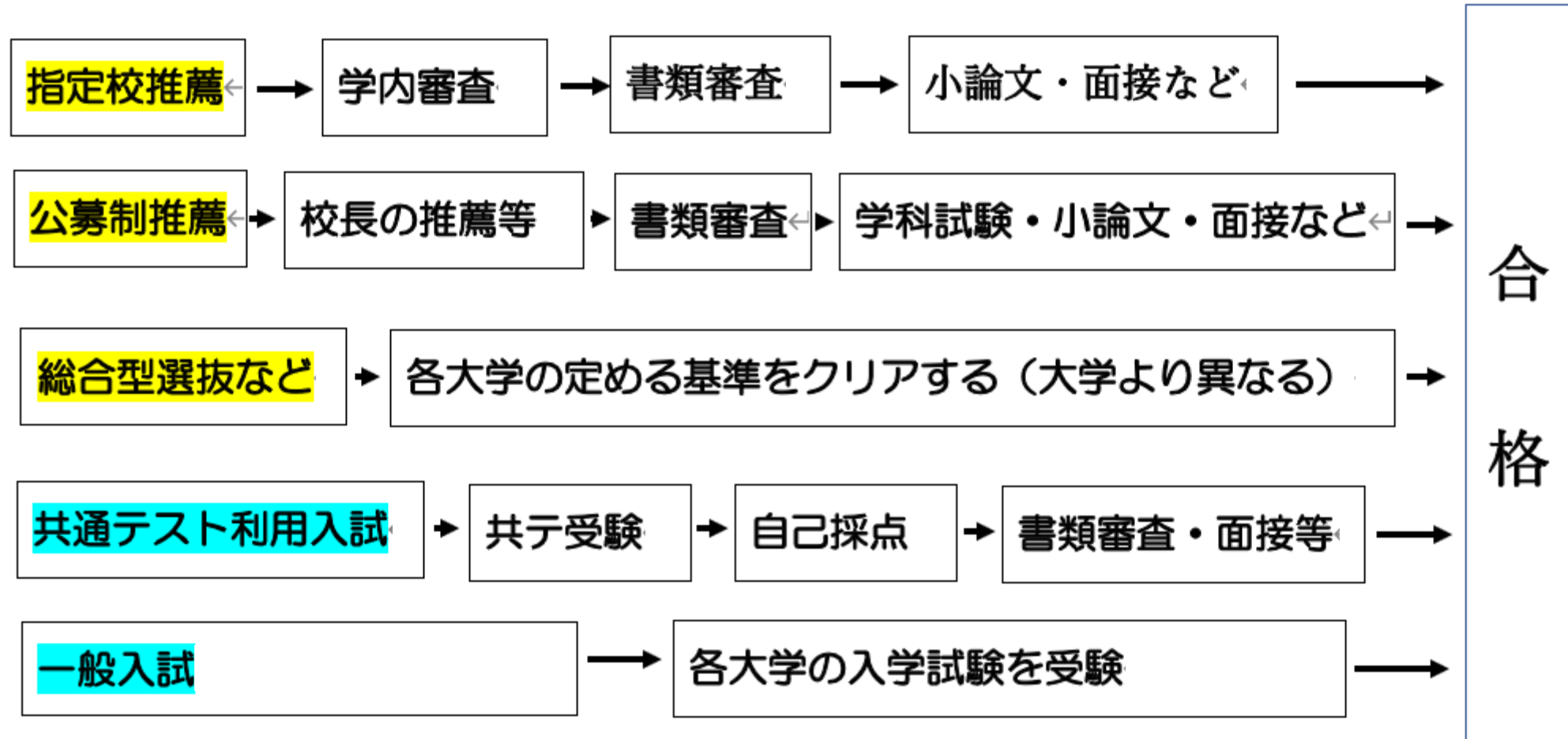
【共通テスト（マークシート方式）】

英語（リーディング・リスニング）
国語（現代文・古文・漢文）
数学（数学1・数学2）
理科（理科基礎2科目or専門1科目）
社会（地歴公民から2科目）

【2次試験（記述問題多）】

英語（リーディング・ライティング）
国語（現代文・古文・漢文）
社会（地歴から1科目）

私立大学受験の種類



私立大学入試（推薦入試）

○指定校推薦

校内で推薦枠を受け取れば、ほぼ確実に合格できる
成績・課外活動実績・生活態度などが評価される

○公募制一般選抜

大学が求める出願条件（成績など）と校長の推薦が必要
書類審査・小論文・面接・プレゼンなどで評価される

○公募制特別推薦選抜

スポーツや文化活動で優秀な成績を収めたことなどを
アピール出来る選抜方式
書類審査・小論文・面接・プレゼンなどで評価される

私立大学入試（総合型選抜）

試験内容は公募制推薦とほとんど同じ
公募制推薦も総合型選抜も学力が問われる

【公募制推薦との違い】

- ①大学が求める学生像に沿って評価が行われる
- ②校長の推薦が不要
- ③選考期間が長く、面接回数が多い傾向がある
- ④実施時期が9月～2月の大学によって様々

私立大学入試（一般選抜）

○理系

- 英語・数学・理科（1科目or2科目）の3教科が基本
- 大学によっては2教科・1教科の大学もある

○文系

- 英語・国語・地歴公民or数学の3教科が基本
- 国語については古文・漢文が不要な大学もある

「英語外部試験」の早期受験の勧め

- 高2での英語外部試験の受験を強く勧めたい
(日本の団体主催の試験を推奨)

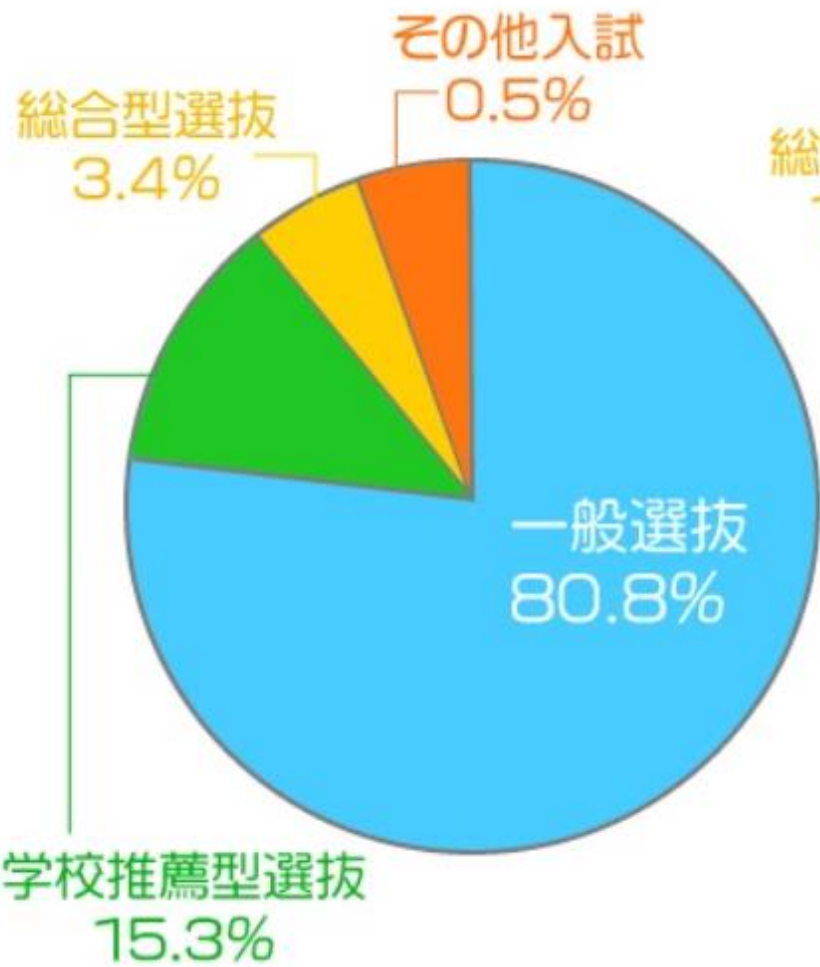
例として英検2級→大学入試英語での優遇多い

高1：英検準2級 高2：英検2級

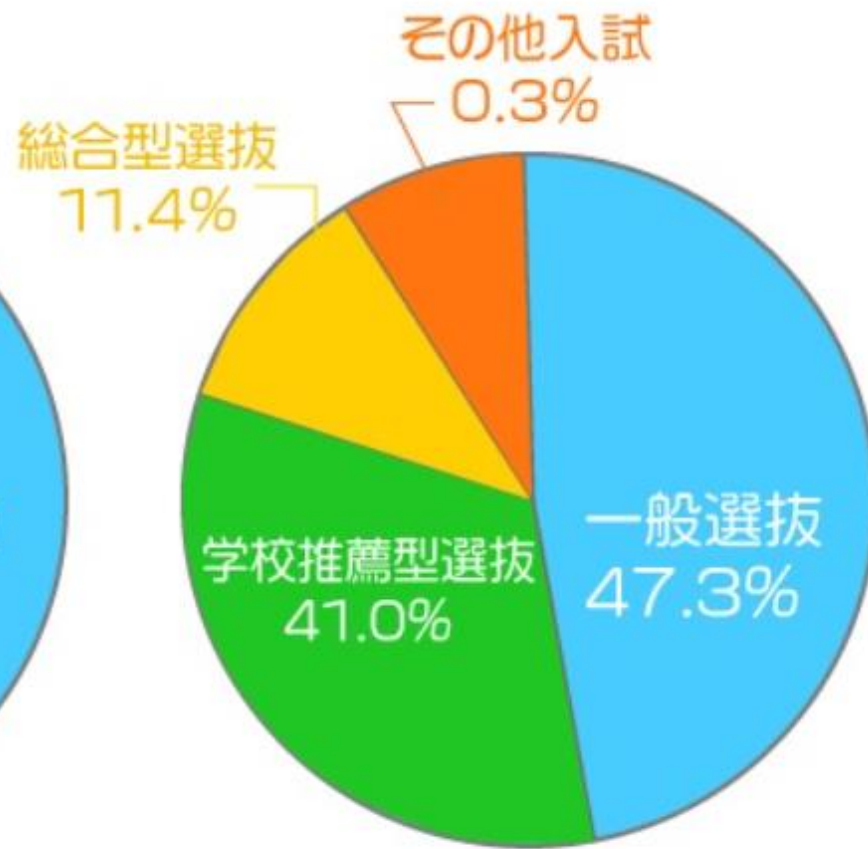
- 高3時点での英語外部試験対策

- 私立大学では高2時点からの成績を利用できる大学が多い

国公立大学への入学者割合



私立大学への入学者割合

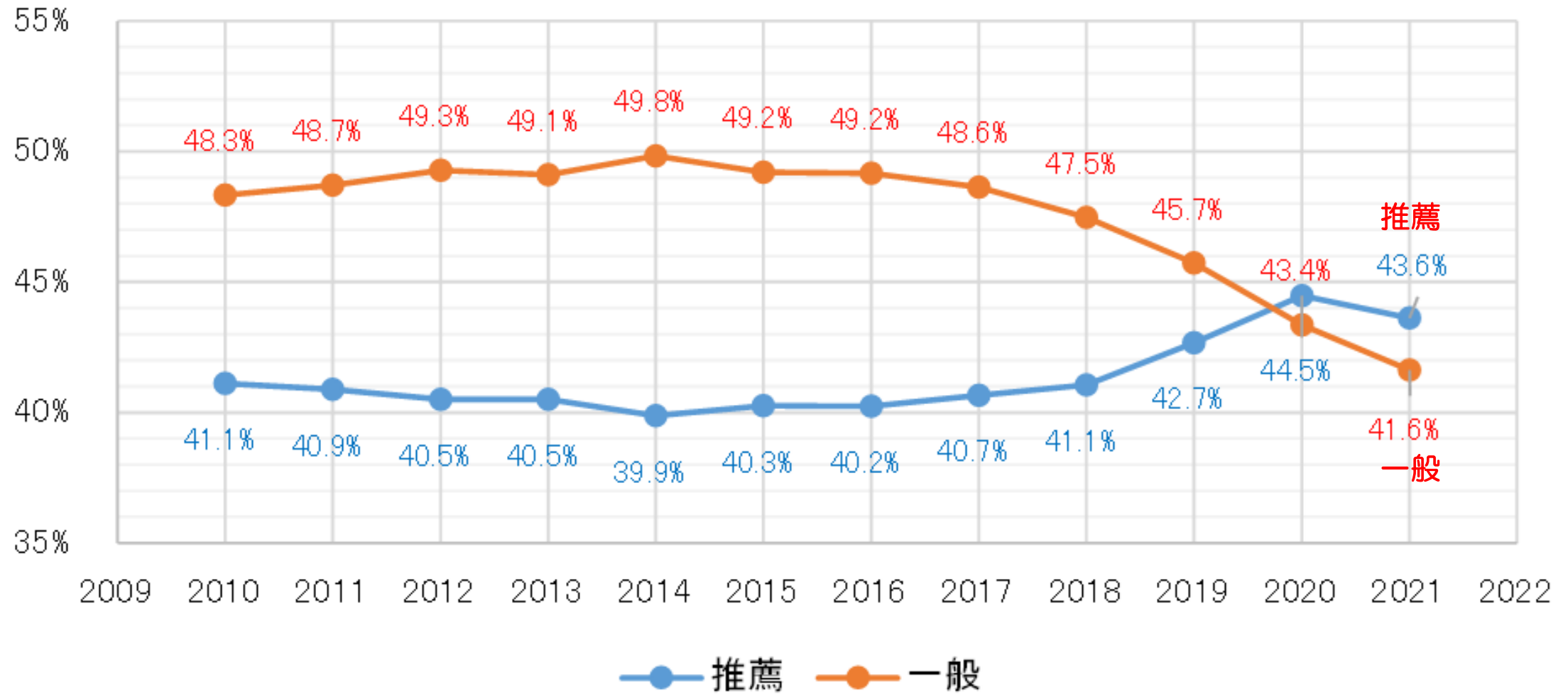


私立短期大学への入学者割合



[出典] 文部科学省
文部科学省

私大入学者選抜実施状況



今年度の入試の動向

○総合型・推薦型選抜の受験生が増加

□ 2022年の私立大学一般選抜の志願者はほぼ前年並み

□ 総合型・学校推薦型選抜による入学者の割合は55.2%まで増えた。

□ 浪人生の割合が年々減少

大学入学共通テストの傾向と対策

【全科目共通】

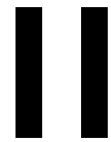
- 知識や解法の暗記だけでは解けない問題が増えた
思考力を問う問題が増えた
- 短時間で多くの問題を処理する必要がある



- 得た知識をアウトプットする
- 問題を見てどの解法を用いるのかを言えるようにする
- 普段から時間制限を設けて解く

大学入試改革について

2025年入試（現高1生）から
新課程がスタート



大学受験の内容も大きく変わる！

大学入試改革について

中学と高校の違い（科目が増える）

単位数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
1年生	現代の 国語	語 文化	地理 総合	歴史 総合	数学I	数学A	物理 基礎	生物 基礎	体育	保健	芸術 選択	英語 コミュニケーションI	論理・ 表現I	情報I	HR																

英語・・・「英語コミュニケーションI」「論理・表現I」

数学・・・「数学I」「数学A」

国語・・・「現代の国語（現代文）」「言語文化（古典）」

理科・・・「物理基礎」「生物基礎」「化学基礎」「地学基礎」から2つ

社会・・・「歴史総合」「地理総合」「公共」から2つ

情報I プログラミングなどを学ぶ

大学入試改革について

【大学入試への影響】

- 数学Cの追加かつ各単元の内容の増加
(共通テストにも必要)
- 歴史総合の受験が必須
(世界史と日本史の近代史の融合)
- 得た知識をアウトプットする
- 新しい科目の「情報」が共通テストに利用される可能性が高い

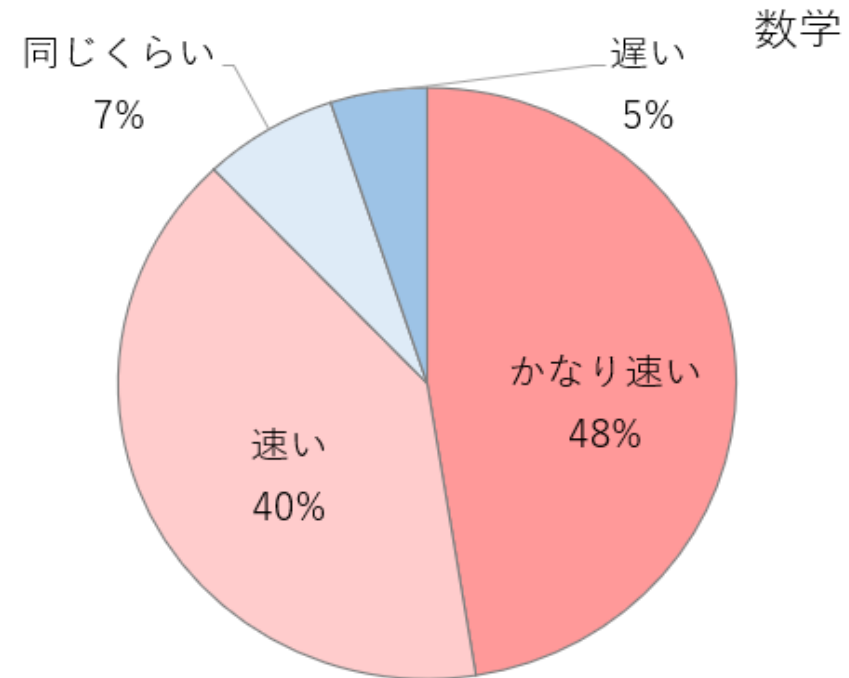
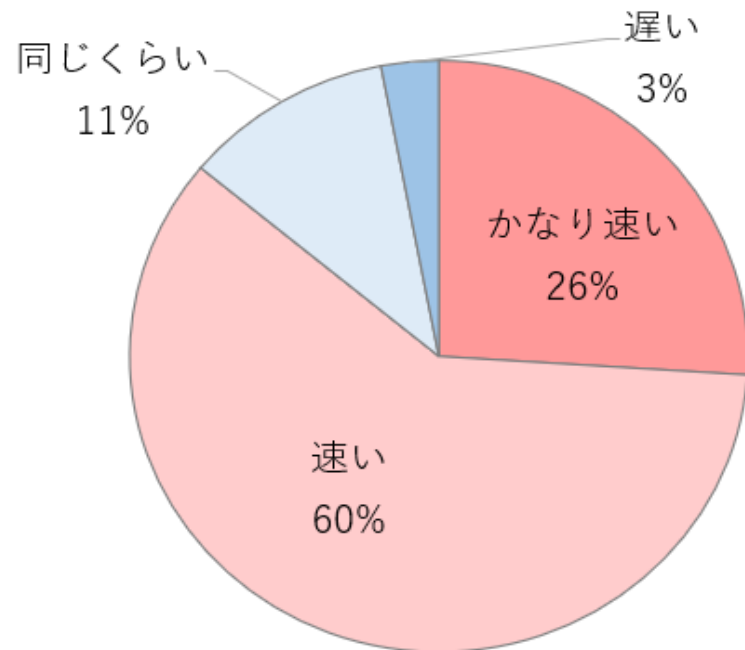


勉強量の負担が大幅に増える

大学入試改革について

中学と高校の違い（授業進度）

授業の進度は中学の時と比べてどのように変わりましたか？（S1アンケート）

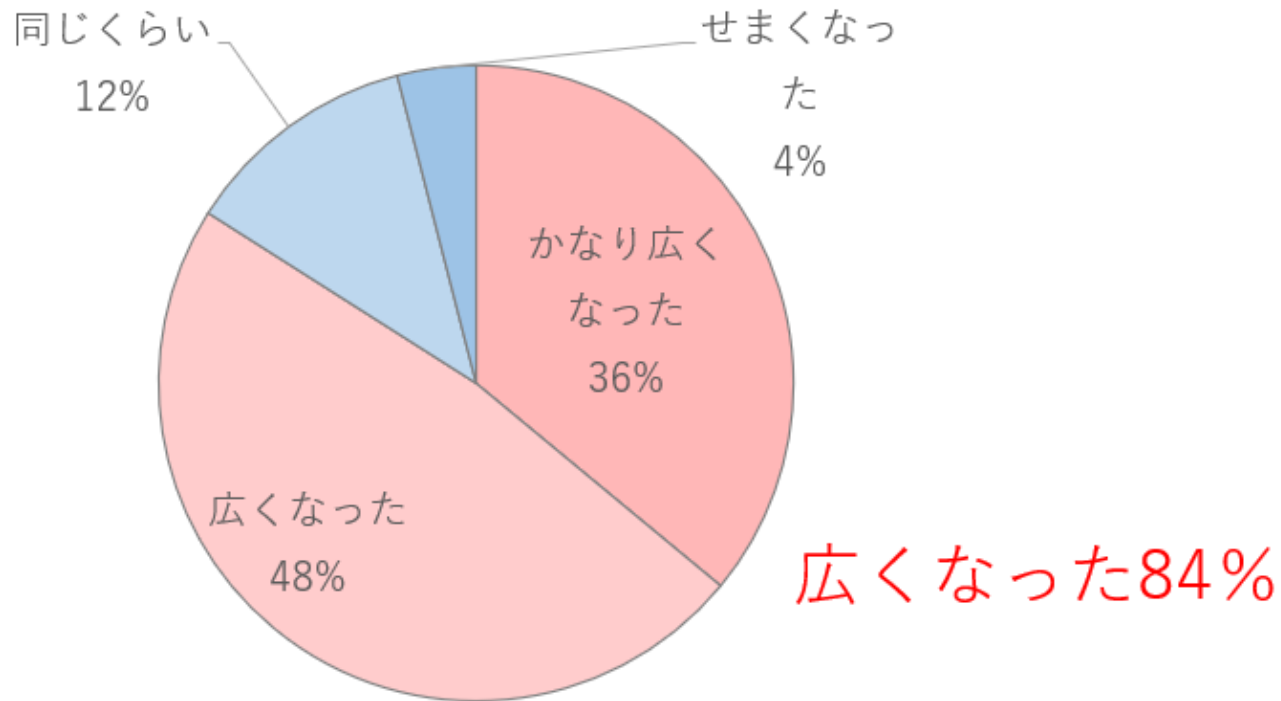


約90パーセントの高校生が進度が速くなったと回答しています
どんどん授業は進みます。授業で復習の時間はとれないので家での復習が超重要です

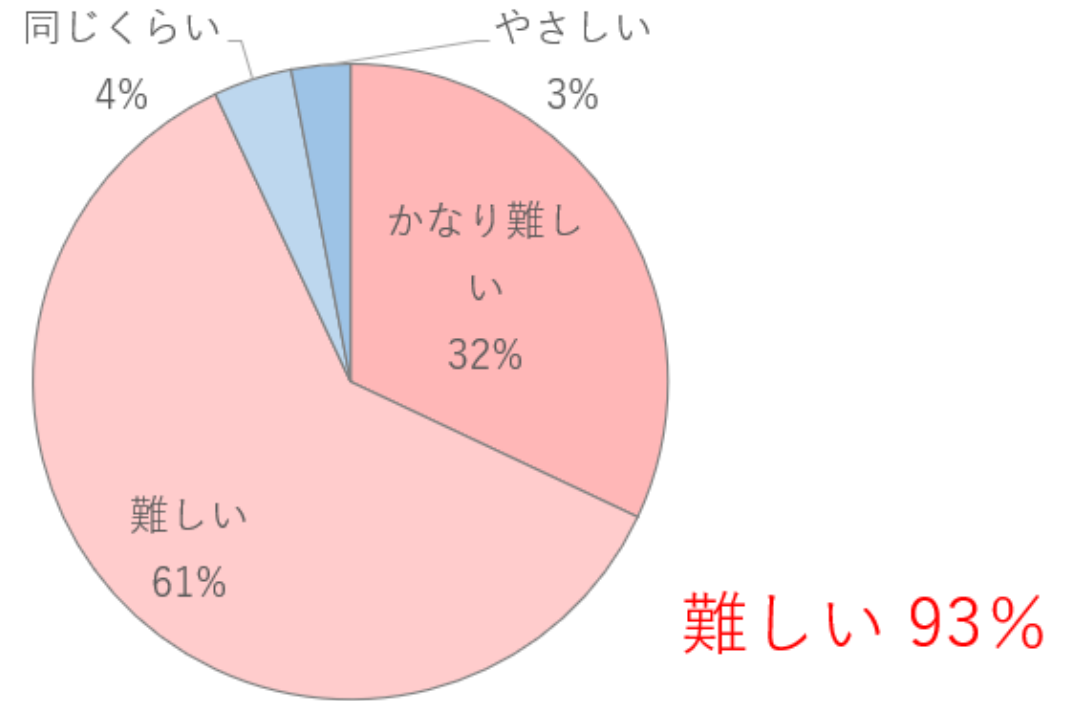
大学入試改革について

中学と高校の違い（定期テスト難しい）

中学の時と比べて定期テストの試験範囲は
どうになりましたか？



中学の時と比べて定期テストの難易度は
どうになりましたか？



高校の学習内容

結果、授業がむずかしくて、ついていけないと感じている高校生は **およそ3人に2人**

問5. 授業がむずかしくて、ついていけないことがありますか？(SA)

問1. あなたの性別		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント		
男	有効	毎回、ついていけない	155	5.0	5.1	5.1	
		ついていけないことが、よくある	656	21.3	21.4	26.4	
		ついていけないことが、ときどきある	903	29.4	29.4	55.9	
		ついていけないことが、たまにある	866	28.2	28.2	84.1	
		ついていけないことは、まったくない	326	10.6	10.6	94.7	
		わからない	162	5.3	5.3	100.0	
	合計		3068	99.8	100.0		
		欠損値	不明	6	.2		
		システム欠損値	1	.0			
	合計	合計	7	.2			
	合計		3075	100.0			
	女	有効	毎回、ついていけない	126	4.1	4.2	4.2
			ついていけないことが、よくある	737	24.2	24.3	28.4
ついていけないことが、ときどきある			1046	34.4	34.5	62.9	
ついていけないことが、たまにある			857	28.2	28.2	91.1	
ついていけないことは、まったくない			176	5.8	5.8	96.9	
わからない			94	3.1	3.1	100.0	
合計			3036	99.7	100.0		
		欠損値	不明	5	.2		
		システム欠損値	3	.1			
合計		合計	8	.3			
合計			3044	100.0			

授業がむずかしくてついていけないことがありますか

回答	男	女	合計	割合
毎回	155	126	281	5%
よくある	656	737	1,393	24%
ときどきある	903	1,046	1,949	33%
たまにある	866	857	1,723	29%
まったくない	326	176	502	9%
	2,906	2,942	5,848	

全国高等学校PTA連合会資料

高校の学習内容

付問5). いつごろから、ついていけなくなりましたか？(SA)

問1. あなたの性別			度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント	
男	有効	小学校1-2年生ころから	57	1.9	2.3	2.3	
		小学校3-4年生ころから	40	1.3	1.6	3.8	
		小学校5-6年生ころから	88	2.9	3.5	7.3	
		中学1年生ころから	268	8.7	10.6	17.9	
		中学2年生ころから	443	14.4	17.5	35.5	
		中学3年生ころから	230	7.5	9.1	44.6	
		高校1年生ころから	931	30.3	36.8	81.4	
		高校2年生ころから	470	15.3	18.6	100.0	
		合計	2527	82.2	100.0		
		欠損値	不明	4	.1		
			システム欠損値	544	17.7		
			合計	548	17.8		
		合計		3075	100.0		
		女	有効	小学校1-2年生ころから	33	1.1	1.2
小学校3-4年生ころから	61			2.0	2.3	3.5	
小学校5-6年生ころから	135			4.4	5.0	8.5	
中学1年生ころから	279			9.2	10.3	18.8	
中学2年生ころから	496			16.3	18.3	37.1	
中学3年生ころから	240			7.9	8.9	46.0	
高校1年生ころから	1043			34.3	38.5	84.5	
高校2年生ころから	420			13.8	15.5	100.0	
合計	2707			88.9	100.0		
欠損値	不明			7	.2		
	システム欠損値			330	10.8		
	合計			337	11.1		
合計				3044	100.0		

いつ頃から、ついていけなくなりましたか

学年	男	女	合計	割合
小1-2	57	33	90	2%
小3-4	40	61	101	2%
小5-6	88	135	223	4%
中1	268	279	547	10%
中2	443	496	939	18%
中3	230	240	470	9%
高1	931	1,043	1,974	38%
高2	470	420	890	17%
	2,527	2,707	5,234	

授業についていけないと答えている人の
多くが**高校1年生**でついていけなくなったと回答

⇒高1の学習がとても大事

学校の成績（調査書）が影響する例

龍谷大学の公募制推薦の例(2021年度入試)

評価種別	入試方式	本学独自試験	調査書	英語資格試験	合計
総合評価	スタンダード方式	英語100点 + 国語100点	+ 50点		= 250点
	英語資格試験 利用方式	英語100点 + 国語100点		+ 50点	= 250点

全体の学習成績の状況別(評定平均値)合格率<スタンダード方式>

学部	5.0 ~ 4.5			4.4 ~ 3.9			3.8 ~ 3.3			3.2 ~		
	受験数	合格数	合格率	受験数	合格数	合格率	受験数	合格数	合格率	受験数	合格数	合格率
文学部	252	84	33.3%	468	69	14.7%	214	12	5.6%	55	3	5.5%
経済学部	119	29	24.4%	314	51	16.2%	149	3	2.0%	26	1	3.8%
経営学部	112	25	22.3%	282	30	10.6%	120	3	2.5%	34	0	0.0%
法学部	95	30	31.6%	181	26	14.4%	75	8	10.7%	17	1	5.9%
政策学部	74	23	31.1%	160	24	15.0%	62	3	4.8%	9	0	0.0%
国際学部	105	46	43.8%	225	57	25.3%	60	11	18.3%	8	0	0.0%
先端理工学部	105	58	55.2%	196	83	42.3%	209	48	23.0%	66	12	18.2%
社会学部	128	51	39.8%	273	77	28.2%	117	9	7.7%	21	3	14.3%
農学部	81	42	51.9%	113	49	43.4%	79	19	24.1%	21	1	4.8%

進学した高校で
上位3分の1にはいれ！

入試について（学習指導要領の影響 新高2・高1）

教科	科目	標準 単位数	必履修 科目
国語	現代の国語	2	○
	言語文化	2	○
	論理国語	4	
	文学国語	4	
	国語表現	4	
	古典探究	4	
地理 歴史	地理総合	2	○
	地理探究	3	
	歴史総合	2	○
	日本史探究	3	
	世界史探究	3	
公民	公共	2	○
	倫理	2	
	政治・経済	2	
数学	数学Ⅰ	3	○ 2単位まで減可
	数学Ⅱ	4	
	数学Ⅲ	3	
	数学A	2	
	数学B	2	
	数学C	2	

理科	科学と人間生活	2	「科学と人間生活」を含む2科目 又は 基礎を付した科目を3科目
	物理基礎	2	
	物理	4	
	化学基礎	2	
	化学	4	
	生物基礎	2	
	生物	4	
	地学基礎 地学	2 4	
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	○ 2単位まで減可
	英語コミュニケーションⅡ	4	
	英語コミュニケーションⅢ	4	
	論理・表現Ⅰ	2	
	論理・表現Ⅱ	2	
	論理・表現Ⅲ	2	
	家庭	家庭基礎 家庭総合	
情報	情報Ⅰ 情報Ⅱ	2 2	○
	理数	理数探究基礎 理数探究	1 2~5
総合的な探究の時間		3~6	○ 2単位まで減可

地歴公

地理総合

地理情報システム・防災・国際

歴史総合

世界史・日本史近現代

公共

倫理・政治・経済・国際

全て履修

理科

物理基礎・化学基礎

生物基礎・地学基礎から3つ

数学B

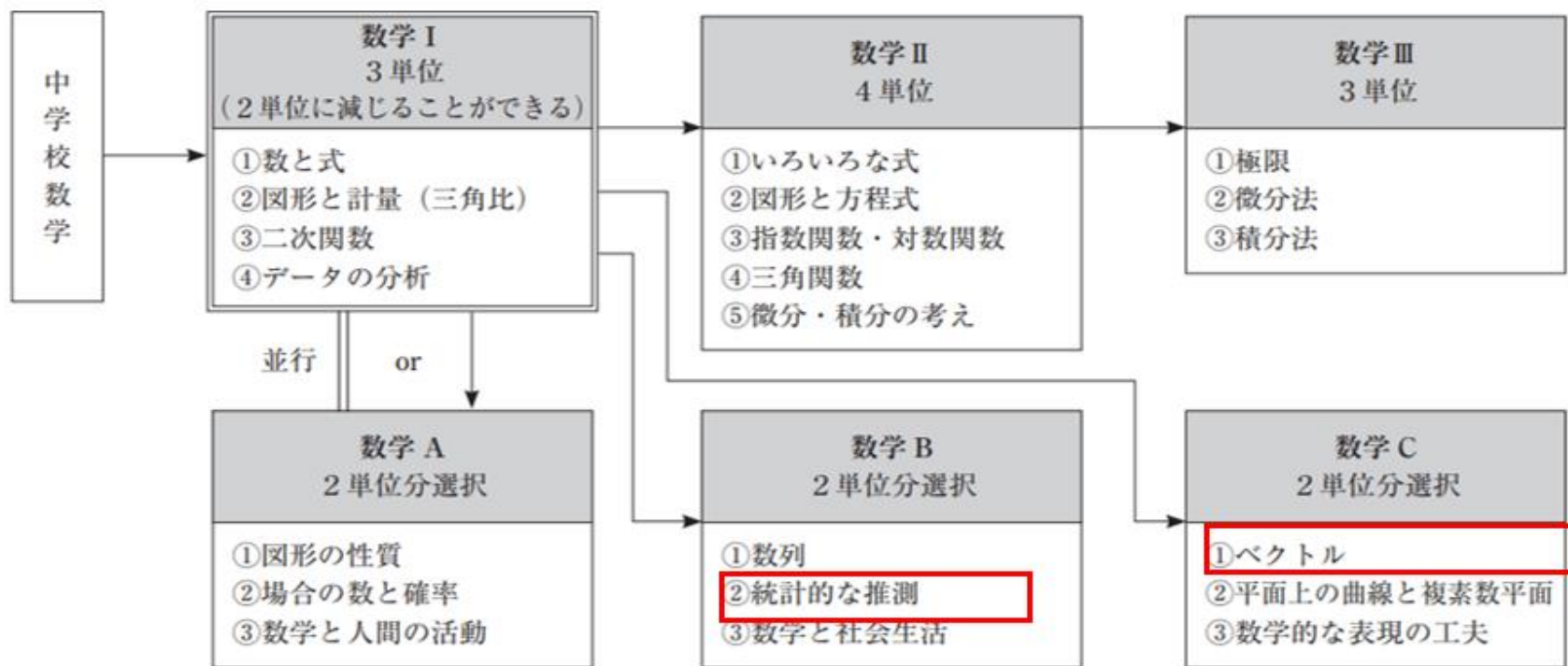
数列、統計的な推測

数学C

ベクトル、2次曲線・複素数平面

情報Ⅰ

数学Cが追加



□ は必修科目

→ 履修順

⇔ 並行履修

- 「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」を履修させる場合は、「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」の順に履修させることを原則とすること。
- 「数学A」については、「数学Ⅰ」と並行してあるいは「数学Ⅰ」を履修した後に履修させ、「数学B」及び「数学C」については、「数学Ⅰ」を履修した後に履修させることを原則とすること。
- 各科目を履修させるに当たっては、当該科目や数学科に属する他の科目の内容及び理科、家庭科、情報科、理数科等の内容を踏まえ、相互の関連を図るとともに、学習内容の系統性に留意すること。

数学で受験する場合、数学Cを学校でいつするのか確認

入試について（学習指導要領の影響）

センター試験に代わって実施されている
共通テストもさらに範囲が広く、難しくなる

1. 令和7年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト実施大綱において定める出題教科・科目

教科	グループ	出題科目
国語		『国語』
地理歴史		『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『地理総合、歴史総合、公共』
公民		『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合、歴史総合、公共』(再掲)
数学	①	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』
	②	『数学Ⅱ、数学B、数学C』
理科		『物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎』 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』
外国語		『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』
情報		『情報Ⅰ』

注目すべき点は
数学Cが追加

国公立受験者は情報Ⅰが必須受験になる

科目	現在	令和7年度
国語	80分	90分
日本史	日本史	日本史+歴史総合
世界史	世界史	世界史+歴史総合
倫理	倫理	倫理+公共
政治・経済	政治・経済	政治・経済+公共
数学Ⅱ・B	数学Ⅱ・B	数学Ⅱ・B・C (選択) 数列B、統計B ベクトルC、曲線Cから3
	60分	70分
情報Ⅰ	-	追加

1 週間の学習時間

学力の向上には**自学自習を含めたすべての時間を効率的に**
学習する必要がある

1 週間の学習時間

3240 分



予備校・塾での授業時間

240 分



自学自習時間

3000 分



早稲田・慶応・上智レベルに合格するために
必要な時間3000時間

・高1から勉強すると合格プランになる

- 高1：勉強時間 1週間560分→塾160分+自学自習300分
△自学自習 1日1～1.5時間 1年間 →450時間
- 高2：勉強時間 1週間1060分→塾160分+自学自習900分
△自学自習 1日2～2.5時間 1年間 →845時間
- 高3：勉強時間 1週間2130分→塾160分+自学自習1970分
△自学自習 1日4.5～5時間 1年間 →1705時間

京進スクール・ワン吉野町教室高校指導プラン

- 受験戦略指導プラン

やるべきものは明確にある

あとは・・・

いかに自分ごととしてやれるか？

京進スクール・ワン吉野町教室高校指導プラン

・受験戦略指導プラン

わかるだけでは志望校合格は不可能

